



さわやか東原 自分もよくて みんなもよい

令和6年 甲辰の年 チャレンジの年に!



新年あけましておめでとうございます。

冬休み明けの初日、子供たちが元気に登校してきました。

令和6年、新しい年を迎え、久しぶりに友達と会った子供たちは、笑顔満開でした。また、「冬休み明け朝会」では、どの子も一生懸命に話を聞く姿が見られました。

令和5年度も、残すところあと3ヶ月です。安心して、笑顔で学校生活を送ることができるよう、教職員一同『愛と希望』をもって、子供たちと共に学校生活を送っていきたいと思います。今後とも、皆様の御理解・御協力をお願いいたします。

冬休み明け朝会から

冬休み明け朝会で、次のような話をしました。

甲辰（きのえ・たつ）

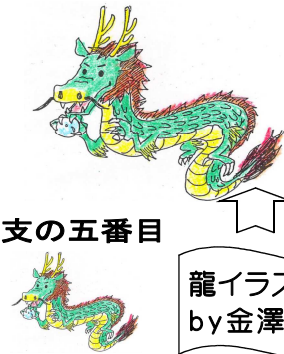


甲（きのえ）

木のお兄さん
ものごとの
はじまり

辰（たつ） 十二支の五番目
龍（竜） りゅう

いきおいがある

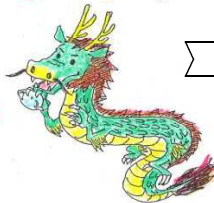


龍イラスト
by金澤教諭

甲辰（きのえ・たつ）

がんばりたいこと

ちょうせん
挑戦する年



すこしずつ
ちよつとずつ

けいぞくは、かなり



「甲（きのえ）」は、「木」からきていて、物事の始まりという意味があるそうです。そこで、「甲」は、『まっすぐにそそり立つ大木』を表しているそうです。まるで、東原小の中庭に立つ

「校木の赤松」のようですね。「辰（たつ）」は、「子、丑、寅、卯、辰…」十二支の5番目で、龍（竜）として、大昔から水や海の神様として祀られてきました。「昇り龍」などと言うことがあるように、勢いよく活気にあふれた様子を意味するそうです。

甲と辰の二つの漢字を組み合わせ、甲辰（きのえ・たつ）の年は、『新しいことに挑戦して成功する』『これまでに準備してきたことが形になる』といわれ、とても縁起の良い年になると言われています。みなさんも、ぜひ「なりたい自分」「目指したい自分」に向かって「がんばること」を決めて、少しずつ実行して行ってください。ちよつとずつ続けることが大事です。「継続は力なり」です。

※朝会では、能登半島地震と羽田空港の飛行機の事故についても触れ、こうして、皆で新年を迎えられることは奇跡のようなことであること、当たり前だと思っている毎日が、実は当たり前ではない、という話をしました。そして、自分の命や友達、家族の命を大事にして過ごしていこうと伝えました。

あらためて、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

冬休み明けの子供たちの様子は、順次学校ホームページに掲載していきます。どうぞ楽しみにしてください。

